



## A. T 日本語日本文学科 3年次

参加期間： 2015年8月14日～9月13日（4週間）

受入校： Drouin Secondary College（Drouin, Victoria）

### I. 教育実習について

受入校の Drouin Secondary College は日本語学習に力を入れており、周辺の Primary School での日本語の授業も実施しているため、私は日本人の先生と共に受入校のほかに 3 つの Primary School にも訪問することとなった。曜日ごとに異なる学校に通うが、進度はどこも同じなため、Primary School では 1 週間を通してどこの学校のどのクラスも同じ内容の授業を行う。月曜日は町の中心部にあり、Secondary College から近い Drouin Primary School へ。幼稚園児にあたる Prep のクラスと Year1-2 のクラスがそれぞれ 2 つずつある。火曜日は少し離れた Drouin West Primary School だが、午後からの授業しかないため Year1-2 が 2 クラスだけだった。そして木曜日に隣町の Longwarry Primary School に訪問。ここでは Year1-2 以外のすべての学年の授業が行われていた。また、水曜日と金曜日は Drouin Secondary College に行き、Year7,8,9 のそれぞれのクラスの授業に参加した。



Primary School の授業は、まず日本語の歌を歌い、次に挨拶などの練習、さらにひらがなのフラッシュカードとプリントタスクをした後、ゲームの時間というように基本的な流れが決定されている。その中で 1 週目は挨拶練習の時間を使って私の自己紹介をし、ゲームの時間に日本から持って行った紙風船やコマなどのおもちゃを見せてみんなで遊んだ。2 週目には浴衣を着ていき、着物と浴衣の違いを伝えた。これもゲームの時間に行った。3 週目には日本の文化についてパワーポイントを用いて話したのだが、時間がかかるためひらがなのレッスンも省いて行った。4 週



目はクッキングの特別授業でお好み焼きを作った。といっても生徒たちが調理するのではなく、私と担当の先生が作ったものを食べてもらうという形で行った。これまでもおにぎりを作ったこともあるらしく、先生曰く前回と同様に反応が良かったとのこと。あまり好きではないと一口食べて捨ててしまう子も何人かいたが、



多くの生徒はおいしいと言って食べていた。中には何度もお代わりをする児童もいた。



Drouin Secondary College は Year7~9 の学年では日本語が人気らしく、1クラス 20 人程度の学生がいる。中でも Year9 は特に人数が多く、現在で 23 人の学生が次年度も日本語の勉強を続けることを望んでいるらしく、Year10 になってもクラスが作られる予定だそう。

授業では、どの学年もゲームがふんだんに使われており、文法の応用やちょっとした練習などにもただプリントを解いたり文章を作ったりするのではなく、さまざまな工夫を凝らした練習が行われていた。特に Year7 のクラスではテストをする前に確認として伝言ゲームで全員に文字を書かせたり、パソコン上の共有アプリを使ってクイズ形式で、挨拶や今まで習った表現のおさらいをしたりなどと授業の 3 分の 1 程度の時間をゲームに使っていた。そのパソコンで行うゲームは正解するとポイントが付き、それでクラス内の上位ランキングも出るため、みんな楽しみながら一生懸命に解いていた。



Secondary College ではカリキュラムが設定されているため、特別に私から何かを紹介したりということは少なく、配布物を配ったり、黒板に文字を書いたり、正しい発音の例を示したり、プリントやその他のタスクの質問を聞いたりといったアシスタントとしての仕事をメインで行った。ただし、特別に Year9 のクラスでは、日本のレストランでの表現について勉強しており、実際に学生がスクリプトを作ってロールプレイを行っていたので、ファーストフードでのアルバイトを活かして様々な表現や、実際の接客の様子、日本とオーストラリアでの接客の違いなどを説明する授業を 20 分程度で行った。

## II. ホストファミリーについて

ホストシスターが私の受け入れ先の Secondary College の日本語の先生だった。旦那さんと二人で、学校から歩いて 20 分程度のところに住んでいる。水・金曜日は私の実習先が Drouin Secondary College だったので、朝 8:15 ごろに一緒に出発するが、帰りは会議などがあるため、私が先に帰ることもしばしば。明るくて面倒見の良い人だった。旦那さんはメルボルン近郊にある大学に通っており、電車で 1.5~2 時間ほどかけて通学している。空いている時間にカフェ兼バーでアルバイトをしているため忙しく、何度か顔を合わせない日もあった。



二人ともバスケットボールをしているため毎週月曜日には試合を見に行ったり、週末は観光で様々な場所に連れて行ってもらったりした。また家族を大切にする人たちで、家族の誕生日や父の日にはそれぞれの実家に出かけてお祝いをし、私を家族に紹介してくれた。また犬を 2 匹飼っており、雨の日以外は夕方に散歩に出かける。



## Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

常備薬として風邪薬や痛み止めなどを持っていくといい。現地と日本との気候の差で体調を崩しても、忙しくすぐに薬を買いに行けなかったり、現地の薬が体に合わなかったりすることがあるため、日本から最低限のものを持っていくと安心。また、マスク・ポケットティッシュは必需品。特に、夜は乾燥がひどいのでマスクをして寝るのがおすすめ。また、現地の人にはマスクをする習慣がないので、スーパーや薬局などでも売ってないこともある。

授業で何をしているのかなどを先に聞いておくと、それに合わせた日本からのお土産などを持っていくことができる。日本のおもちゃや折り紙などは、日本語に力を入れている学校だと持っていることも多いので、何を持っていくのか、どんなことを紹介するのかなど、事前に打ち合わせの方がよい。



H. Y 現代こども学科 2年次

参加期間： 2015年8月14日～9月6日（3週間）

受入校： Kew high school（Melbourne）

## I. 教育実習について

7年生～12年生（中学1年生～高校3年生）の日本語の授業にアシスタントとして入りました。とても明るく積極的な性格の生徒が多く、元気な授業ばかりでした。授業ではひらがなや漢字を書くことや発音、会話の練習、作文などをしました。文法の勉強では生徒が日本語の文を作って私がその文を英語にして本当に自分の言いたかったことが伝わったかどうか確認するということもしました。日本人アシスタントの先生がいたからできた授業だと言ってくれました。実際に日本のおもちゃである羽子板で遊んだり、折り紙を折ったりもしました。12年生（高校3年生）は大学進学へ向けた試験を控えているので放課後や休み時間に質問をしに来てくれて一緒に勉強をしたりすることもありました。10年生（高校1年生）とは遠足で日本人が営むラーメン屋さんに行きました。そこで実際に日本語を使って注文をしてみたり日本の食べ物を食べたりしました。日本の授業とは全く違う授業に参加できてとてもよかったです。日本語の授業がない時間は他の授業に参加させてもらいました。言語や美術、ドラマ、家庭科などいろいろな授業に参加しました。日本語のクラス以外の生徒と関わることが出来てとてもよかったです。



## II. ホストファミリーについて

とても素敵なホストファミリーと過ごしました。平日はホストファミリーの家の子と一緒に学校へ行ったり、放課後犬の散歩をしたりしました。私のために日本食を作ってくれたり、お箸をプレゼントしてくれたりしました。ホストファミリーの家の子がしているスポーツにもいつもついていき応援をしました。休日はメルボルンシティへ出かけたり、ヒールズビルというところにあるオーストラリアの生き物だけがいる動物園に行ったりしました。たくさん思い出ができました。私はホストファミリーが大好きです。



## III. 参加希望者へのアドバイス

私はこの TJFL プログラムを通してとても素敵な経験をすることができました。この TJFL プログラムは普通の語学留学とは全く違う留学です。実際に先生として子どもたちと関わっていくことができます。子どもが好きな人、なにか成し遂げてみたい人にはとても良いと思います。プログラム最終日にはとても大きな達成感を味わうこともできました。そして英語だけでなく責任をしっかりと持つことの大切さも学びました。私はこの TJFL プログラムに参加して本当に良かったです。みなさんもぜひ参加してみてください。